

青森県支部

中心市街地の空き店舗及び空地の活用策の調査研究

第1章 総論

総論では、本調査報告の目的として、商店街の空店舗は年々増加しているものの、空店舗や空地を利用した各種イベントや顧客の利便性を図る場として賑わいづくりに努めており、その現状について調査することとしている。また後半部分では、青森県の商業について、統計データをもとに現状を分析している。構成は、以下のとおり。

- 1.本調査研究事業の目的
- 2.青森県の商業の現状
- 3.商店街空店舗調査
- 4.中心市街地活性化への取組状況

第2章 各論

県内8市の商工会議所、商工会より聴き取り調査をし、調査テーマとして、「1. 中心市街地の空店舗及び空地の現状」、「2.活用策として実施した事業」、「3. 中心市街地活性化に向けての対応」を各担当者が取りまとめた。構成は、以下のとおり。

- 1.青森市
- 2.弘前市
- 3.八戸市
- 4.黒石市
- 5.五所川原市
- 6.十和田市
- 7.三沢市
- 8.むつ市

第3章 まとめ

県内のシンクタンクである青森地域社会研究所 竹内慎司・地域振興部長に依頼し、全国的な空店舗の現状から県内8市における空店舗の状況、空店舗解消のための取組事例、最後に空店舗ゼロの商店街実現のための提言をまとめた。構成は、以下のとおり。

- 1.全国的に歯止めのかからない空店舗問題
- 2.「平成18年度 商店街実態調査報告書」に見る空店舗の状況と対策
- 3.県内8市における空店舗の状況
- 4.県内8市における空店舗解消のための取組事例
- 5.空店舗解消に対する追い風
- 6.空店舗ゼロの商店街実現のために